

富山福祉短期大学活報告

◆活動取組みの紹介

本学のボランティアセンターでは学生ボランティアコーディネーター（通称ボラコ）が中心となり、学生たちへのボランティアの案内や調査などをしています。R6年度は4月に鰻絵と下條川千本桜まつりのボランティアへの参加をスタートに、富山パイロットクラブのパイロットウォーク、射水市一日民生委員、MOA美術館射水児童作品展、子育てフェスティバル in いみず等の様々なボランティア活動を行いました。



◆活動していてやりがいや喜びを感じる時

ボランティア活動をしているときに子どもやその親御さんとも会話をする機会があり、ボランティアを通して交流することで、ニコニコとしている子どもたちや保護者の方々の笑顔が見られた時や感謝の言葉を頂いた時にやりがいを強く感じます。また、地域の方から労いの言葉や感謝の言葉を頂くこともあり、自分が参加し、関わる事でその方の役に立っているのかもしれない、ということがボランティア活動に参加する意欲に繋がっています。

◆最後にひとこと

様々な場所で行われるボランティア活動を通して、やりがいや喜びを感じ、多くの方と関わる機会が持てていることに嬉しく思います。ボランティアは、継続することが大事だと思っています。なので、ボランティアが楽しいと思って貰い、また参加したい、続けたいと思って貰えるように活動していきたいです。